



2026 年 8 月 3 日

各位

会社名 TREホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 阿部 光男
(コード:9247 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員経営企画本部長 大島 伊貢
(TEL. 03-6327-2622)

千葉県市原市における産業廃棄物破碎選別・再資源化施設(仮称) 建設工事開始のお知らせ

当社連結子会社の株式会社タケエイ(東京都港区、以下「タケエイ」)は、千葉県市原市において、産業廃棄物破碎選別・再資源化施設(仮称)の建設工事を開始することになりましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 産業廃棄物破碎選別・再資源化事業について

本事業は、「TRE 環境複合事業」構想(2022 年 9 月発表)において推進中の 4 つの事業(①廃プラスチック高度選別・再商品化事業、②産業廃棄物破碎選別・再資源化事業、③金属資源高度選別事業、④廃棄物焼却・発電事業)のひとつです。本施設は、タケエイの中核を担う中間処理施設として、これまで培ってきた産業廃棄物処理のノウハウを活かした機械設備の配置に加え、安全面にも十分に配慮した施設設計を計画しており、グループ既存の中間処理施設に対するバックアップ機能も備えます。また、混合廃棄物処理に AI を活用したロボット選別を導入することで機械化と省人化を図るなど、廃棄物処理の効率化と多様なリサイクルニーズへの対応に挑戦してまいります。

7 月 31 日に、市原市副市長の高澤良英様をはじめとする市原市役所のご関係者、並びに市原商工会議所会頭の山内一信様や関連企業各社の皆様にご参列いただき、建設工事の無事を祈願して地鎮祭を執り行いました。建設工事完了は 2028 年 2 月を予定しており、試験運転の後、2028 年 4 月頃より受入れを開始する計画です。

本事業は、首都圏における TRE グループの各拠点から交通利便性が高く好立地にあることから、グループシナジーを活かした事業展開を図ります。当社グループは、WX※環境企業としてさらなる既存事業の強靱化を目指し、高度循環型社会並びに脱炭素社会の実現へ貢献してまいります。

※ WX:「Waste Transformation」の略称で、進化する廃棄物処理技術の活用によって生み出される、動脈・静脈の枠組みを超えた“共創”の力で、高度循環型社会だけでなく、脱炭素社会も実現させるための取り組み



事業用地と産業廃棄物破碎選別・再資源化施設(完成後イメージ図)



地鎮祭の様子

2. 施設概要

施設	産業廃棄物破碎選別・再資源化施設
所在地	千葉県市原市八幡海岸通 1-1 の一部
敷地面積	45,363.73 m ² (共用エリアを含む)
受入品目	中間処理: 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 積替保管: 石綿含有産業廃棄物、廃蛍光灯、廃電池
取扱量	300t/日
操業時間	24 時間受入・稼働可能
主要設備	破碎機、圧縮梱包機、揺動式選別機、風力選別機、AI 選別機、自動投入機など
工期	2026 年 6 月～2028 年 2 月(予定)
受入開始	2028 年 4 月(予定)

3. 今後の見通し

産業廃棄物破碎選別・再資源化事業は、2028 年度の稼働開始を予定しております。千葉縣市原市を舞台に、産学官の垣根を超えた“共創”で大規模な資源循環を実現する「TRE 環境複合事業」構想は、まさに当社が推進する「WX」を体現する取り組みであり、当社グループの中長期的な成長ドライバーとして位置づけるものです。当社は今後も「WX」で廃棄物の可能性を最大化することで、高度循環型社会、および脱炭素社会の実現に取り組んでまいります。

下記プレスリリースもご参照ください。

2022 年 9 月 15 日 [千葉縣市原市における「TRE 環境複合事業\(仮称\)」構想に関するお知らせ](#)

2025 年 3 月 21 日 [千葉縣市原市における廃プラスチック高度選別・再商品化施設\(仮称\)建設工事開始のお知らせ](#)

以上